

## 自主的計画節電

東日本大震災からもうすぐ1年が経とうとしています。大葛自主的計画節電とは、大葛地区7集落全体(当時238世帯685人)で、日時を決めて各家々が照明を消し、その時間は極力電氣を使わないようにしようと取り組んだものです。

5月7日の**大葛の将来を考える会**の役員会では、反対意見が無く即決。取り組み内容は、電氣の供給量のピークとなる**7・8月の毎週金曜日、20時から21時までの時間**で実施することにし、練習期間の5・6月は実施日を決めて3日間実施しました。5月27日の練習期間初日は、ほぼ100%の実施率で、この**実施率は最終日まで継続**することができました。



ろうそくの明かりの中での会議

この取り組みを初めて聞いた人は「簡単なじゃないか」と思うかもしれませんが、ただ照明を消すという作業も、地区全体で行うというのは容易なことでは

ありません。横の繋がりの強い大葛だから成功したと思います。だからこそ、この大葛の取り組みが、集落単位の節電としては全国初の試みとなったわけです。

また、ある集落では、節電実施中に使用する「ろうそく作り」が行われたり、別の集落では、一人暮らしのかたのために、19時30分から21時まで会館を開放し、みんなで集まる場を作ったことで、**新たに世代間交流の場が生まれた**こともこの取り組みの効果といえるでしょう。

取り組みを通して実際に節電できた量は微々たるものかもしれませんが、みんなが、みんなでやることで大きな力になりました。行動する・変わること意識も変わる。週に1回の節電で、日々の生活でも節電を意識するようになりました。

少しでも力になりたいという気持ちがあり、地区がひとつになったからこそ自主的計画節電。地区全体で取り組めたことは本当にすごいことです。素晴らしいことで、一番心に残った取り組みです。私はこの取り組みを成し遂げた大葛地区の一員であることを誇りに思います。



みんなでろうそく作り

## 青若会

前述の事業が成功した大きな理由の一つとして、地区の若者で組織される青若会の存在があります。

細部まで問題がないか何度も話し合っただけで計画を作ったり、ろうそくやチラシを全世帯へ配布したりと大忙し。その実施期間中は、火事を心配して、消防団車両を巡回させたり、見回りを行って火の用心を呼びかけました。

また、8月に行われた青若会主催の大葛合同盆踊りでは、当日の電灯の数も減らし、節電にも協力しました。



青若会の皆さんで、合同盆踊り終了後に記念写真♪

仕事を生み出し定住を目指すということは、容易なことではありません。3年後ばかり考えても仕方ないので、今は目の前の課題を一生懸命頑張ろうと思います。

こんな私でも「来てくれただけでうれしい」と言ってくれる人もいます。その優しさに答えるためにも、今年は初花月と蕎麦、そして除雪、やる事は明確に2012年も頑張ります！人の良さ、温かさ、私は大葛に来て、本当に良かったです。

## 終わりに

### 大館市地域おこし協力隊ホームページ

<http://www7.ocn.ne.jp/~ookuzo>

### ブログ「アキタライフ(松原隊員)」

<http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/4044/>

### ブログ「秋田からのおくりもの〜(林隊員)」

<http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/4045/>

### 大葛新報(大葛地区のみ全戸配布)

<http://www7.ocn.ne.jp/~ookuzo/news.html>

